

臨床研究に関するお知らせ

琉球大学病院耳鼻咽喉科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：超高精細 CT を用いた耳疾患の診断に関する研究

1. 研究の対象

2017年4月1日から2021年8月31日の間に琉球大学病院耳鼻咽喉科にて難聴や中耳炎精査の為に超高精細 CT 検査を行った方が対象です。

(琉球大学病院には超高精細 CT 以外の CT もあるため、いずれの CT をご自身が撮影したかを確認したい際は外来の担当医もしくは下記へ連絡をいただければお伝えします。)

2. 研究目的・方法

超高精細 CT は 2017 年 4 月より販売された新しい CT になります。特徴としては従来の CT と比較して細かい構造をより鮮明に写すことが可能になりました。耳の奥の中耳やさらに奥の内耳は体の構造の中でも細かい部分になるため、この超高精細 CT が有用であることが予想されます。2017 年から琉球大学病院でも超高精細 CT は従来の CT とともに使用を開始しており、すでに耳鼻咽喉科を受診された方でも診断目的に撮影を行っております。この研究では今までにこの超高精細 CT を撮影した方の画像および今後撮影する方の画像を用いて、従来の CT では診断が困難であった耳の病気の診断に超高精細 CT が有用であるかを判断する目的で行います。みなさんの耳の病気を診断する目的で撮影した超高精細 CT 画像を画像ソフトも用いて解析し、病気に特徴的な所見がないかを検討する予定です。

病気の診断のために撮影した画像を用いた研究であり、患者様への負担を伴うものではありませんのでご安心ください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では CT 画像から得られる情報以外にも以下の情報を利用いたします。

年齢、性別、既往歴、合併症、家族歴、聴力検査結果および当院で手術をされた場合は手術記録の情報を利用させていただきます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。外来通院中の方であれば担当医へご確認していただいてもかまわないです。ご希望があ

れば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

近藤俊輔（琉球大学病院耳鼻咽喉科 医員）

電話：098-895-1183

FAX：098-895-1428

住所：沖縄県中頭郡西原町 207 番地

研究責任者：

鈴木幹男（琉球大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授）

-----以上